災害発生時（地震，津波など）の基本対応

洋野町立種市小学校

災害名	場面	場　合	対　応
洋野町内で震度5弱以上の地震	登校前	自宅が安全な場合	・自宅で待機し、学校からの連絡をお待ちください。 （停電等で、電話の不通も考えられますので時間がかかることもあります）
		自宅が危険な場合	・避難所等に避難し、学校に連絡してください。 （難しい時には自宅玄関に張り紙でも結構です）
	登校途中	自宅や学校が近い時	・自宅や学校に向かわせることを基本とします。 ・学校に着いた児童は家庭に連絡します。 ・自宅に着いた児童は家族がいることを確かめ、学校に連絡を入れる。 ・自宅に家族がいない時には、近所に助けをもとめ学校に連絡を入れてもらう。
		自宅や学校が遠い時、不安で動けない時	・近所の商店や家に助けを求め、そばにいる大人の人に連絡を学校と家庭に連絡をいれてもらう。
	登校後	いつでも	・校舎の安全確認や停電の対応が生じます。 連絡の有無にかかわらず学校へ迎えに来ていただくことを基本とします。（電話の不通が想定されます） ・授業を中止し、保護者または代理の方に直接引き渡し、お迎えの来た順に下校させます。 ・お迎えがない場合は、学校で待機させます。 ・避難が必要な場合にはセシリアホール等へ２次避難を基本とします。 ・臨機の対応が生じますので、その時々緊急メールでお知らせします。
	下校時		・登校時と同じ対応になります。
数時間に及ぶと予想される停電	登校前	通　年	・自宅等で学校からの連絡を待って下さい。 （電話等の不通により連絡が遅れる場合があります）
	登校後	冬季以外	・停電が継続している時は、給食が支給されない可能性もあるため、午前授業での対応となりますので、連絡の有無にかかわらず学校にお迎えに来ることを基本とします。 （学校から連絡が入った場合はその指示通りです）
		冬　季	・ストーブ等の使用が難しくなります。連絡の有無にかかわらずできるだけ早く学校にお迎えに来るようお願いします。 （学校から連絡が入った場合はその指示通りです）

津波	注意報	学校での対応	・全児童、学校（海抜約１７m）での避難待機。
		家庭での対応	・下校時刻か都合のよい時刻に迎えに来る。
	警　報	学校での対応	・全児童、学校での避難待機となります。 状況によっては、セシリアホール（海抜約２７m）への二次避難。
		家庭での対応	・解除になるまでは、基本的に引き渡しを行いませんので、解除になってから迎えに来るか、一緒に学校かセシリアホールで避難待機。
	大津波警報	学校での対応	・全児童、セシリアホールへ安全かつ迅速に二次避難。
		家庭での対応	・解除になるまでは、基本的に引き渡しを行いませんので、解除になってから迎えに来るか、一緒にセシリアホールで避難待機。

【登校前に、津波注意報や津波警報、大津波警報などの発令】

・解除になるまで、**自宅待機**か**近くの避難所**へ避難するなどの対応でお願いします。
・**注意報の程度**によっては、発令中の登校（保護者同伴、自家用車など）もあり得ます。

【登・下校中に、津波注意報や津波警報、大津波警報などの発令】

一番近い避難所か学校、公共施設・機関などに行き、その場の大人の指示を聞き、身の安全の確保に努める。（職員が直ちに巡回します）

【スクールバスの運行について】

津波注意報、警報、大津波警報等が発令されている場合は、解除になるまで**運行は見合わ**せます。児童乗車時には、安全な**高台**に**避難停車**します。
ただし、注意報の程度によっては、経路を変更しての運行もあり得ます。

その他の **自然災害等**

・警報発令（台風、大雨、暴風、大雪…）
・不審者や野生動物の出没
・凶悪犯罪
・通学路の安全が確保されていない時

・徒歩通学の児童は、自家用車での登・下校を基本とします。

・バス通学の児童は、乗車まで付き添うことを基本とします。

★特別警報発令中 は、原則として **休校** となります。

【非常時における主な連絡方法】

①緊急メール配信を使用する。（２８年度は、今までの「種小掲示板」も併用する）
②学校から各家庭に直接連絡する。
③地区の連絡網を使用する。
④町の防災無線をお願いする。
⑤学校の昇降口や各地区の商店、１１０番の家などに張り紙をする。
⑥前日に予想される場合は、お便り等を出す。
⑦その他（臨時に対応が生じた場合は、緊急メールなどで保護者の皆さんにお知らせいたします。）

学校の電話　０１９４－６５－２１２８

※状況によって判断・対応が異なってきます。時差登校や休校等の対応をとる場合は緊急メールなどでお知らせしますので、２８年度より開始した**『緊急メール配信システム』へのご加入**をお願いします。